

# フィデリティ 世界バリュー株式 ファンド

Aコース(年2回決算・為替ヘッジあり)

Bコース(年2回決算・為替ヘッジなし)

Cコース

(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)

Dコース

(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

愛称 : Value of Values

追加型投信 / 内外 / 株式

# VALUE OF VALUES

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは...

## 大和証券

Daiwa Securities

<販売会社>

商号等 大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会 日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は...



**Fidelity** フィデリティ投信株式会社  
INTERNATIONAL

<委託会社>

商号等 フィデリティ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第388号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会



# VALUE OF VALUES

フィデリティ世界バリュー株式ファンド



1

**40年以上の優れた実績**

で米国を代表するバリュー・ファンドが日本に初上陸。

2

**アクティブ型ファンドの運用で  
世界最大のフィデリティ**

にて、長年受け継がれてきた運用哲学を一貫して実践。

3

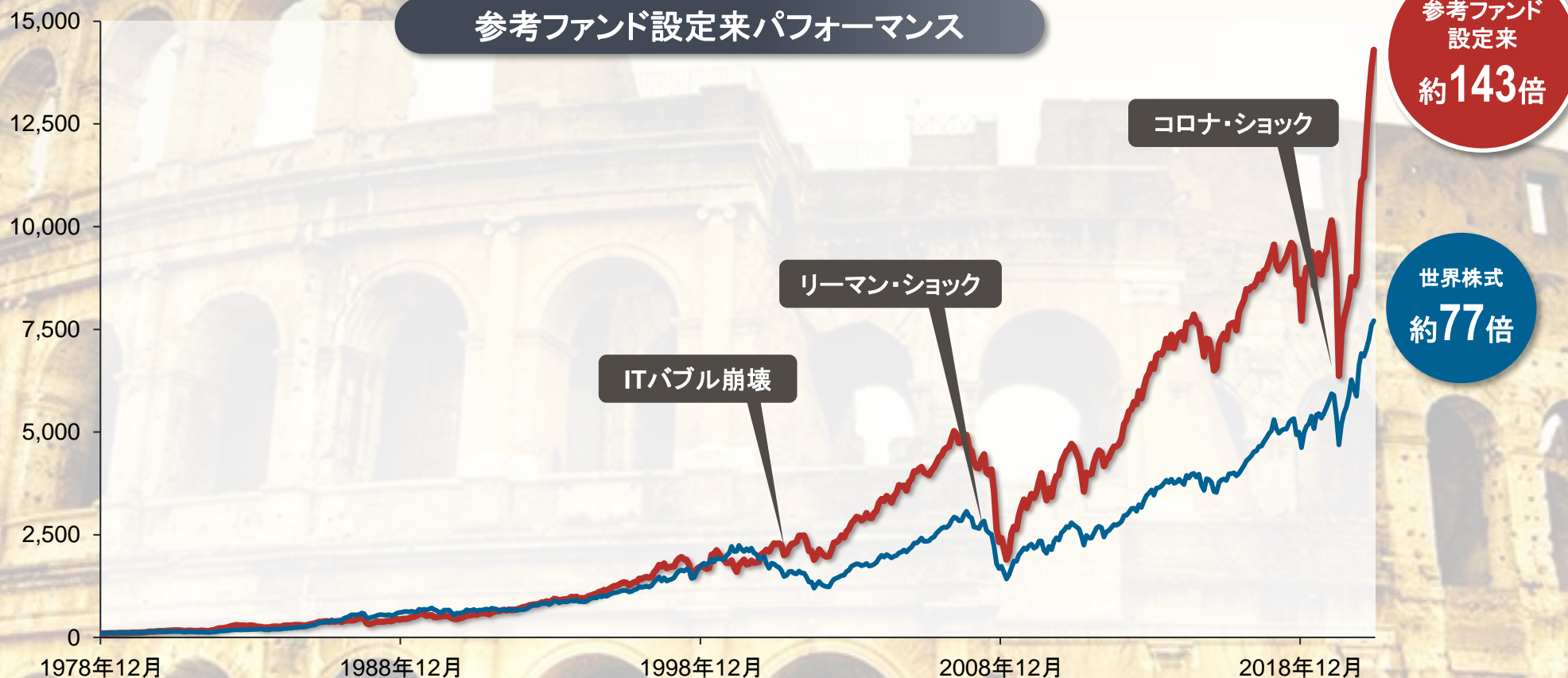
**バリュー相場における優れた実績。**



## ファンドの 魅力

# 40年以上の優れた実績で米国を代表するバリュー・ファンド 一貫した投資哲学で、“割安な銘柄”を発掘

### 参考ファンド設定来パフォーマンス



(注)FMR Co、Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は1978年11月末～2021年5月末(参考ファンドは設定日(1978年12月1日)から)。期初を100として指数化。米ドルベース。世界株式はMSCIワールド、配当込み。参考ファンドはフィー控除後。

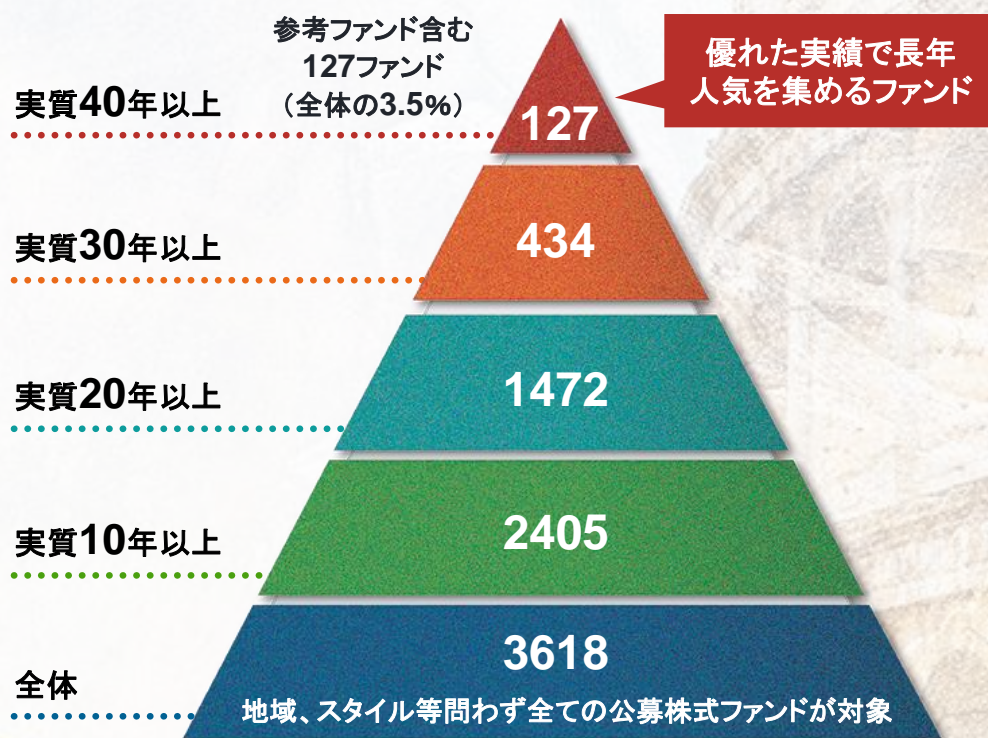
当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」(以下、「参考ファンド」という場合があります)の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。



# トップクラスの実績で40年以上支持されてきた希少なファンド

- 株式投資の本場である米国でも、40年以上の実績を誇る株式ファンドは全体の3.5%しか存在しません。
- バリューストックファンドの中でもトップクラスの実績を残してきたからこそ、長年投資家に支持されてきました。

実績年数別の株式ファンド数



## 競合ファンドとの比較で トップクラスの実績

### 世界大型バリューストックカテゴリにおける 参考ファンドの実績ランキング

過去40年	過去20年	過去15年
1位/4本	2位/29本	1位/40本
過去10年	過去5年	過去1年
1位/82本	5位/145本	4位/167本

(注) モーニングスターダイレクトよりフィデリティ投信作成。2021年5月末時点。左は米国籍で株式ファンドに分類されている公募投信(オープン・エンド・ファンド)を集計。右はモーニングスターで米国籍、世界大型バリューストックカテゴリをピアとするパフォーマンス(リターン)比較。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリューストックマザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリューストックマザーファンド」の運用実績ではありません。



# 世界をリードするフィデリティのアクティブ運用

- アクティブ型ファンドで世界最大級の運用資産、グローバル運用調査体制を持つフィデリティは、徹底的な企業調査により銘柄を厳選しています。

## フィデリティの際立つ特徴

**1** | 世界有数の独立系運用会社  
70年以上にわたり様々な運用戦略を提供

**2** | アクティブ運用を中心に圧倒的な存在感  
約**3.9兆米ドル**を運用

**3** | 世界最大級のグローバル運用調査体制  
350名以上の運用調査プロフェッショナル

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。2021年3月末時点。

## アクティブ型ファンドの 運用資産残高ランキングで**世界首位**

運用会社	運用資産残高
<b>フィデリティ</b>	<b>299兆円</b> (2.7兆米ドル)
アメリカン・ファンズ	246兆円
バンガード	190兆円
JPモルガン	154兆円
ブラックロック	142兆円

(注) モーニングスターダイレクト、Refinitivよりフィデリティ投信作成。2021年5月末時点。世界の公募投資信託(ファンド・オブ・ファンズおよびインデックスファンドを除く)の残高ベース。2021年5月末時点、1米ドル=109.395円で円換算。





## ファンドの魅力

# 世界有数の運用会社への道のり

- フィデリティは創業以来の徹底的な企業調査を重視する文化とともに、世界有数の運用会社への道を歩んでいます。
- 参考ファンドはフィデリティの中でも歴史が古く伝統的な存在です。



参考ファンド  
約80億米ドル  
の残高

2020年  
3.6兆米ドル



参考ファンド運用開始

外資系運用会社初の  
日本進出

グローバルな企業調査の  
先駆けとして、1969年に  
世界で初めて日本に進出

運用資産残高 1兆米ドル突破

フィデリティの  
運用資産残高の推移

1946年  
創業

1969年 1978年

2001年

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。1946年～2020年。参考ファンドの残高は2021年3月末時点。



## フィデリティの根幹となる徹底的な企業調査

- ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行うことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- フィデリティは世界最大級の運用調査体制を持ち、その徹底したプロセスと一貫性こそがフィデリティの特徴です。

創業以来のボトム・アップ・アプローチの徹底

世界最大級の運用調査体制

調査対象企業を多角的に分析



年間 **1万2千回** にもおよぶ  
企業面談を実施

全世界で **350人** 以上の  
運用プロフェッショナルが徹底的な企業調査を実施

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。2021年3月末時点。企業面談回数は株式運用チーム全体での2020年の回数。



## ファンドの 魅力

# 世界有数の規模と実績のバリュー株式運用チーム



### なぜ勝てるのか？

“人の行く裏にバリューの道がある。”

投資において、人は自分が正しいと考える道よりも、他人と同じ道を選ぶ人が多いものです。しかし私は、自分自身が見極めた本質的な価値は、決して裏切らないと確信しています。

### なぜバリュー投資を 続けるのか？

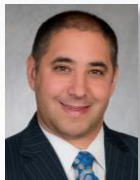
私は1999年にフィデリティに入社し、企業調査担当者として仕事をするかたわら、自身の持つ数学的素養が最も活かせる投資スタイルが何かを常に考えてきました。そして、最終的にバリュー投資に出会ったのです。

企業の本質的な価値を見つける方法として、漠然とした未来を想像するグロース投資よりも、目の前にある実際の数値を深く分析するバリュー投資こそが、自身の持てる力を最大限発揮できると確信したわけです。

このバリュー投資の考えが、企業調査担当者の時代も、現在の運用担当者としても、私を成功に導いてくれています。

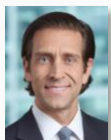
マット・フリードマン

### 当ファンドの運用担当チーム



- 25年以上の業界経験
- 一貫してバリュー投資の調査と運用の実績を蓄積

運用主担当  
マット・フリードマン



3名の共同運用担当者  
ジョン・ミルシェカリ  
ローリー・ムント  
シャドマン・リアツ

### 経験豊富かつバリュー株式運用に特化したチーム（年数は平均業界経験年数）

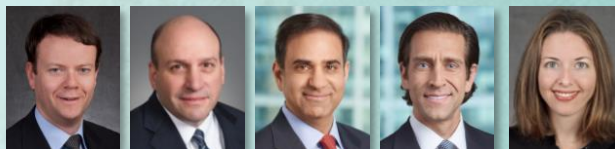
大型・中型株  
20年



小型株  
29年



セクター担当  
17年



世界有数の  
バリュー株式運用残高

チーム全体で  
**16.5兆円**  
(0.15兆米ドル)



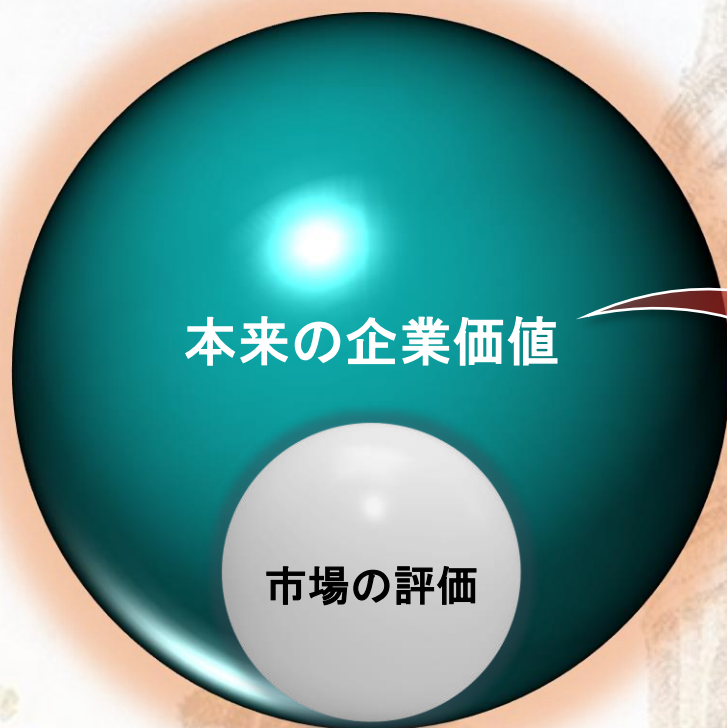
(注) FMR Co、モーニングスターダイレクトよりフィデリティ投信作成。平均業界経験年数は2021年3月末時点。チーム運用残高は2021年5月末時点。インデックスファンドを除く。為替レートは2021年5月末時点、1米ドル=109.395円で円換算。



# 高い投資収益の源泉

## 本来の企業価値を見極める運用

地道な企業調査から、本来の企業価値を独自に算出します。短期的な市場動向に惑わされず、本来の企業価値に基づくバリュー投資の徹底が、高い投資収益の源泉です。



### ボトム・アップ・リサーチによる見極め



#### ディスカウント（将来の収益力）

足元だけではなく将来の収益力を詳細に評価



#### ターンアラウンド（変化の可能性）

経営戦略や事業環境の変化を的確に予想



#### ディスカバー（手つかずの価値）

独自の調査により市場では注目されていない事業や企業を発掘

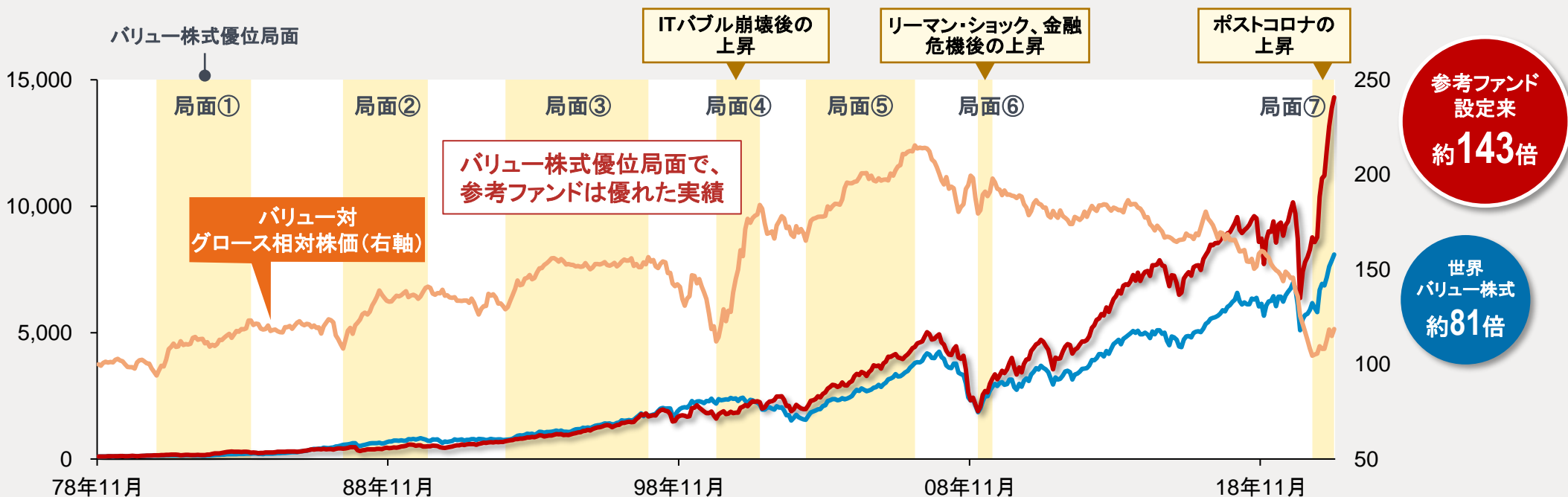
(注) フィデリティ投信作成。上記はイメージであり、実績ではありません。当戦略についてご理解いただくためのご参考として掲載しています。



# バリュー相場で優れたパフォーマンスを発揮



- 過去、株式市場はバリュー株式優位の局面、グロース株式優位の局面を繰り返してきました。
- 参考ファンドは、バリュー株式優位の局面で、優れた運用実績を示す傾向があります。



各局面の騰落率	局面①	局面②	局面③	局面④	局面⑤	局面⑥	局面⑦	平均値
参考ファンド	67.5%	23.1%	137.4%	40.7%	124.0%	68.2%	63.1%	74.9%
世界バリュー株式	47.4%	29.2%	124.8%	-1.5%	145.2%	54.7%	31.0%	61.5%
世界株式	29.0%	12.0%	104.5%	-22.4%	115.3%	47.2%	23.0%	44.1%

(注) FMR Co.、RIMESよりフィデリティ投信作成。期間は1978年11月末～2021年5月末(参考ファンドは設定日(1978年12月1日)から)。期間初を100として指数化。米ドルベース。世界株式はMSCIワールド、世界バリュー株式はMSCIワールドバリュー、世界グロース株式はMSCIワールドグロースを使用、いずれも配当込み。バリュー株式優位局面とは、世界バリュー株式の世界グロース株式に対する相対株価が継続的に上昇※し、その上昇率が10%を超えた局面を指す。※継続的に上昇とは、相対株価が6カ月超の期間にわたり、途中5%を超えて下落することなく上昇した場合とする。局面①は1980年11月末～1984年2月末、局面②は1987年4月末～1990年3月末、局面③は1992年11月末～1997年10月末、局面④は2000年2月末～2001年8月末、局面⑤は2003年3月末～2006年12月末、局面⑥は2009年2月末～2009年8月末、局面⑦は2020年8月末～2021年5月末。参考ファンドはフィー控除後。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。





**対象企業**  
(バリュー株式から、  
流動性等を考慮して選別)

- フィデリティのグローバル調査体制を活用し、幅広く銘柄を調査



**投資機会の発掘**

- 投資先企業との面談、訪問調査を実施



**ポートフォリオ  
構築**

- 長期的な収益力や経営戦略等を見極めて銘柄選定



**ファンド**

- 幅広い銘柄に分散投資  
(ファンドの想定保有銘柄 約200-350銘柄程度\*)

\* 投資環境や運用資産総額により変更されます。

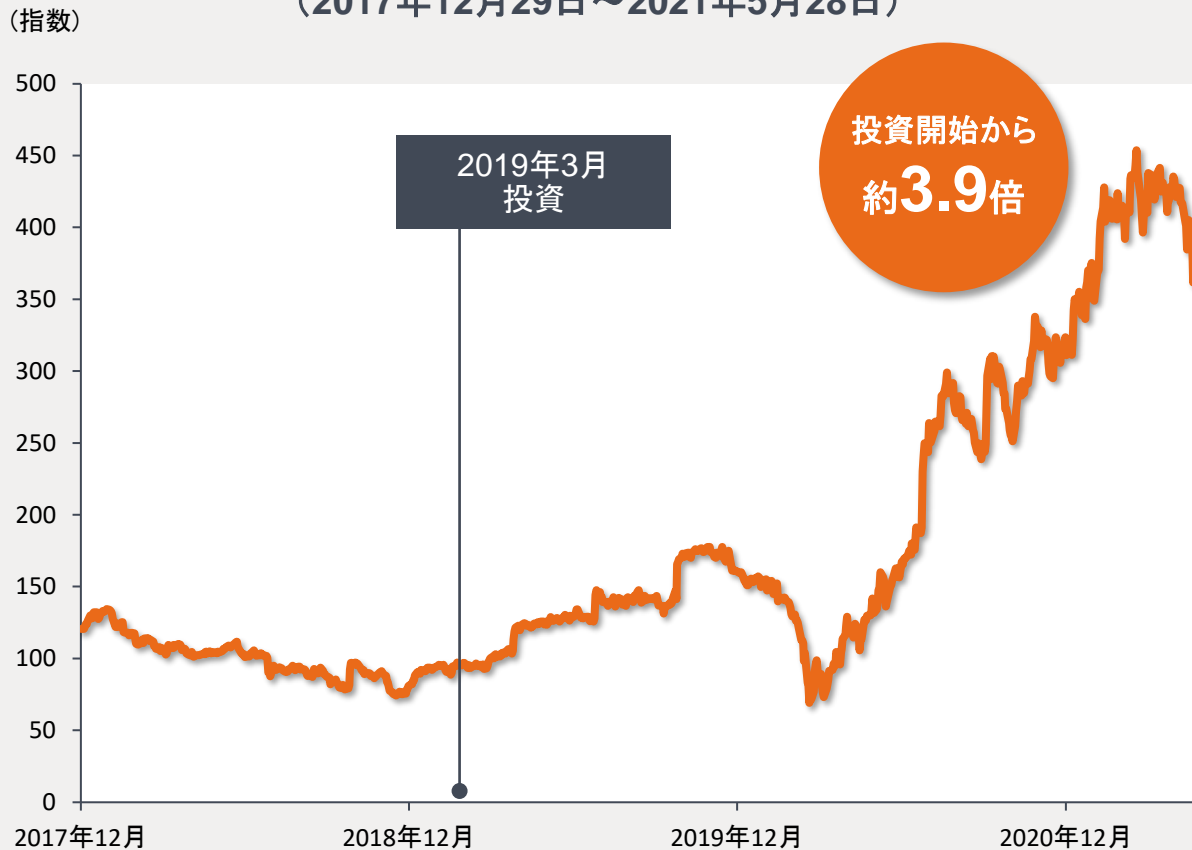


# 徹底した調査・分析で発掘した本来の企業価値①



## リチャ・モーターズ（米国、一般消費財・サービス）

株価の推移  
(2017年12月29日～2021年5月28日)



投資開始から  
約**3.9倍**

2019年3月  
投資



※写真はイメージです。

### 銘柄概要

自動車ディーラー大手。中古車および新車、アフターサービスを手掛ける。

### 徹底した調査・分析で発掘した本来の企業価値

#### 市場の見方

自動車販売は競争と変動が激しい事業のため、投資家は慎重。

#### 運用チームの見方

新車販売に加えて、中古車やアフターサービス、オンラインなどの多角的な展開と事業の相乗効果により、本来の企業価値を高く評価。

#### 今後の見通し

巧みな企業買収によって事業ネットワークを地方へ拡張させ、本来の企業価値を拡大。

(注)FMR Co.、Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は2017年12月29日～2021年5月28日。投資開始の月末を100として指数化。株価は配当込み、米ドルベース。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。

掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

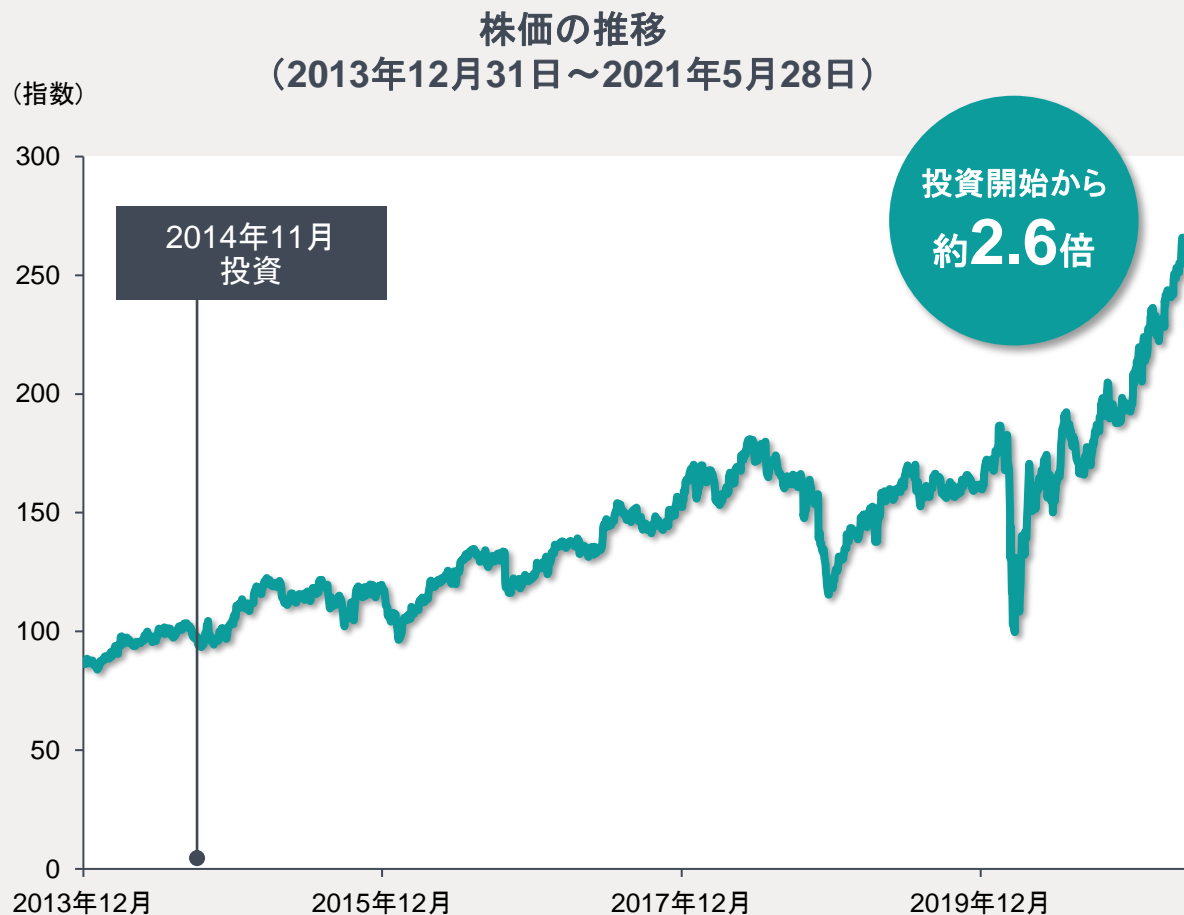
当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。



# 徹底した調査・分析で発掘した本来の企業価値②



## ラボラトリー・コーポレーション・オブ・アメリカ・ホールディングス (米国、ヘルスケア)



(注)FMR Co.、Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は2013年12月31日～2021年5月28日。投資開始の月末を100として指数化。株価は配当込み、米ドルベース。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。



※写真はイメージです。

### 銘柄概要

臨床検査や医薬品開発サービスを提供。

### 徹底した調査・分析で発掘した本来の企業価値

#### 市場の見方

臨床検査が主な事業であり、医薬品開発は注目されなかった。

#### 運用チームの見方

バイオテクノロジーを活用した優れた医薬品開発力と長期的な成長性から、本来の企業価値を高く評価。

#### 今後の見通し

新型コロナの検査需要は一時的との見方が広がっているが、独自の分析に基づくと、来年にかけても長期的な需要が期待できる。

掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

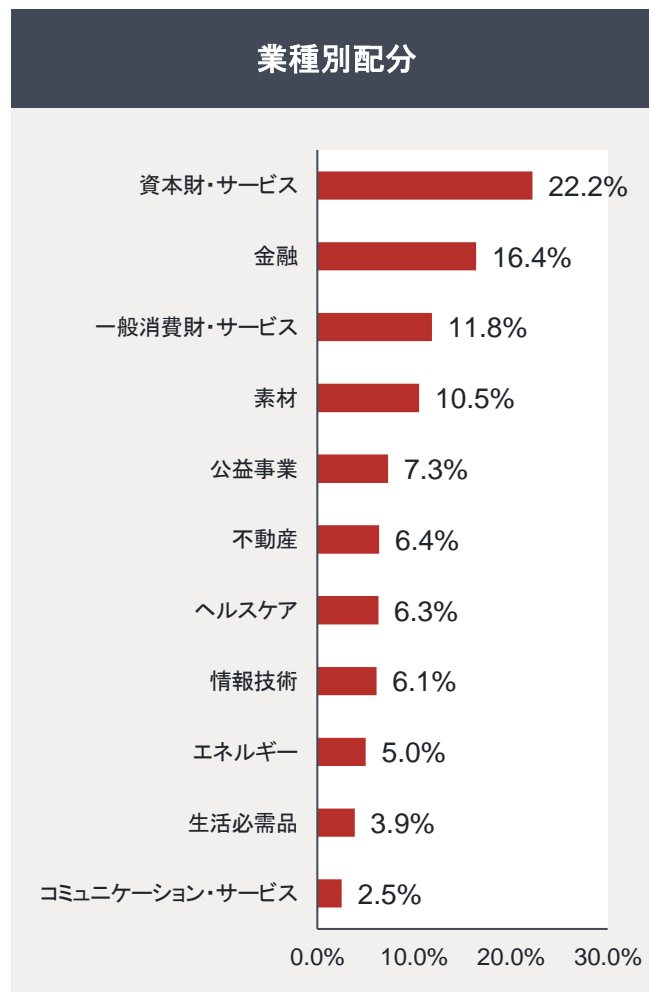
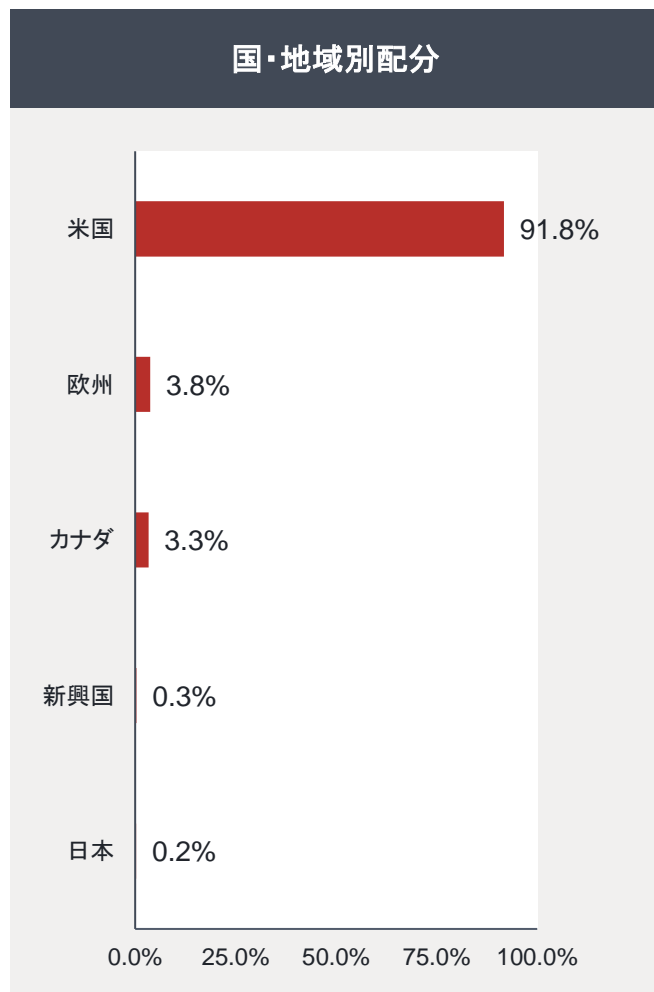
当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。



# 国・地域、業種配分とポートフォリオ特性



■ 幅広い国・地域や業種から、割安で有望な銘柄を発掘します。



### ポートフォリオ特性

	参考ファンド	世界株式指数
銘柄数	237	1,586
予想株価収益率(倍)	15.4	20.0
株価純資産倍率(倍)	2.3	2.8
一株当たり予想利益成長率	70.8%	23.7%
1銘柄当たり平均時価総額(10億米ドル)	15.1	33.9

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。国・地域別配分、業種別配分は2021年4月末時点。ポートフォリオ特性は2021年3月末時点。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。世界株式指数はMSCIワールド指数を使用。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。



# 組入上位銘柄



## 組入上位10銘柄の概要 (組入銘柄数: 237)

銘柄	業種	特徴
ニールセン・ホールディングス	資本財・サービス	広告測定サービスや消費者視聴行動分析など、市場調査情報を提供。ニューヨークを本社として主要各国に拠点を置き、グローバルに事業を展開。
シーザーズ・エンターテインメント	一般消費財・サービス	米国でカジノを運営。優れた経営陣と的確な企業買収により成長基盤を拡大。
ザ・イー・イー・エス	公益事業	米国をはじめ、中南米やアフリカなどで発電と配電事業を展開。再生可能エネルギーにも注力。
オーリン	素材	ポリ塩化ビニル(PVC)等、幅広い化学製品等を製造・販売。建設資材などの分野において、低コストを競争力として世界的に事業を展開。
ラボラトリー・コーポレーション・オブ・アメリカ・ホールディングス	ヘルスケア	臨床検査室及び医薬品開発サービスを提供。専門的な検査を提供するほか、医薬品開発では、世界のバイオ医薬品企業や医療機器企業にサービスを提供。新型コロナの検査事業も拡大。
カーチス・ライト	資本財・サービス	精密部品とシステムの設計や製造。航空宇宙や一般産業向けに技術サービスを提供。ライト兄弟が立ち上げた会社などが合併。
エディソン・インターナショナル	公益事業	カリフォルニアをはじめ、世界各地で電力事業を展開。蓄電池やガスタービンによるハイブリッド発電システムや太陽光システムなどを開発。
エイコム	資本財・サービス	運輸やエネルギー、施設などのインフラプロジェクトにおける建築・設計、コンサルティングサービスを提供する世界的なエンジニアリング企業。
カービー	資本財・サービス	タンカーによる水運会社。主に米国内ミシシッピ一河、ルイジアナ州沿岸水路、アラスカ、ハワイ等で運輸事業を展開。
フルーア	資本財・サービス	テキサス州に本社を置く、多国籍エンジニアリングおよび建設会社。米国政府や各国政府、企業を顧客として、各種インフラの資材調達、建設、保守、プロジェクト管理事業を展開。

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。2021年3月末時点。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。

※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

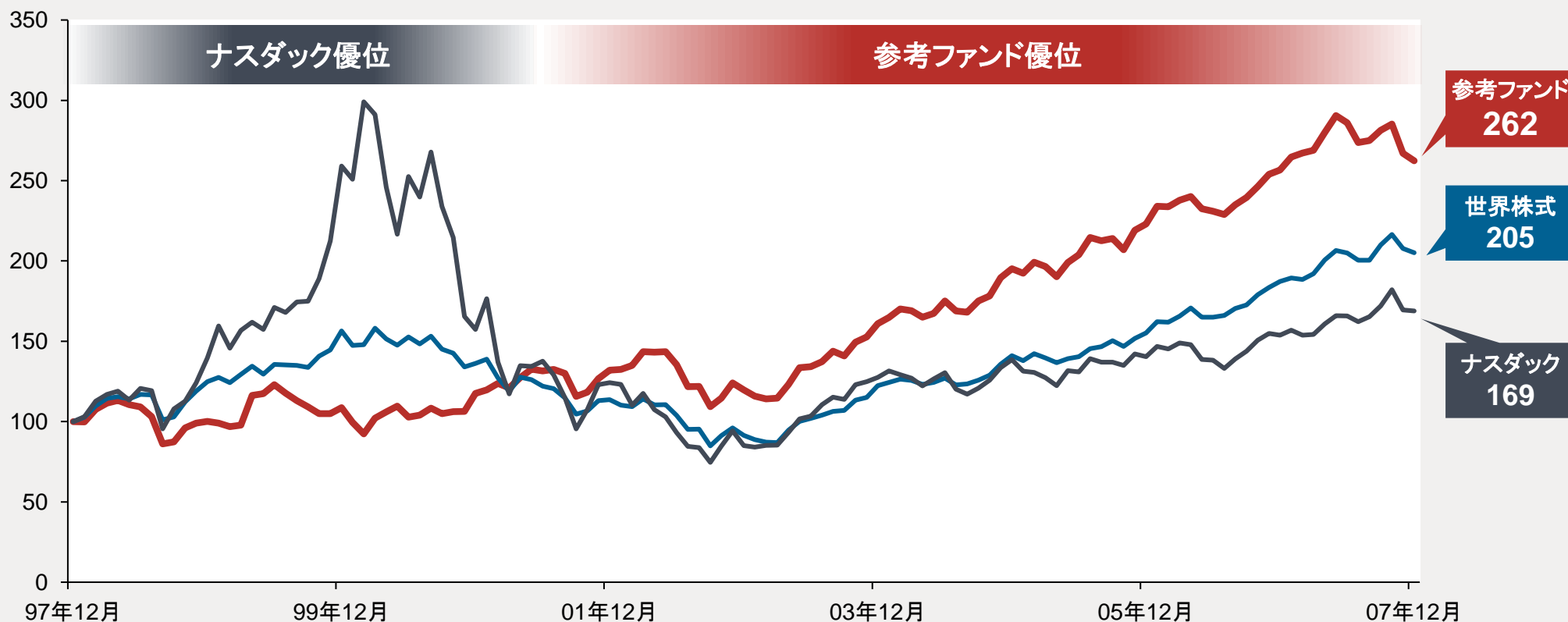


## ITバブルを乗り越えてきた運用力



- 下記は相場が大きく動いたITバブル崩壊、その前後5年間における参考ファンドの実績を示したものです。
- ITバブルとその崩壊といった相場環境の急変にもかかわらず、一貫した哲学・運用方針は揺らぐことなく、参考ファンドは優れた運用実績を残してきました。

ITバブル期からの参考ファンドや主要株式指数の推移



(注) RIMESよりフィデリティ投信作成。期間は1997年12月末～2007年12月末。米ドルベース。世界株式はMSCIワールド、配当込み。ナスダックはナスダック総合指数(当該期間において、トータルリターン指数が存在しないため、プライスリターン指数を使用)。期間初を100として指数化。参考ファンドはフィー控除後。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。



# ファンドの特色



## ■ ファンドの特色

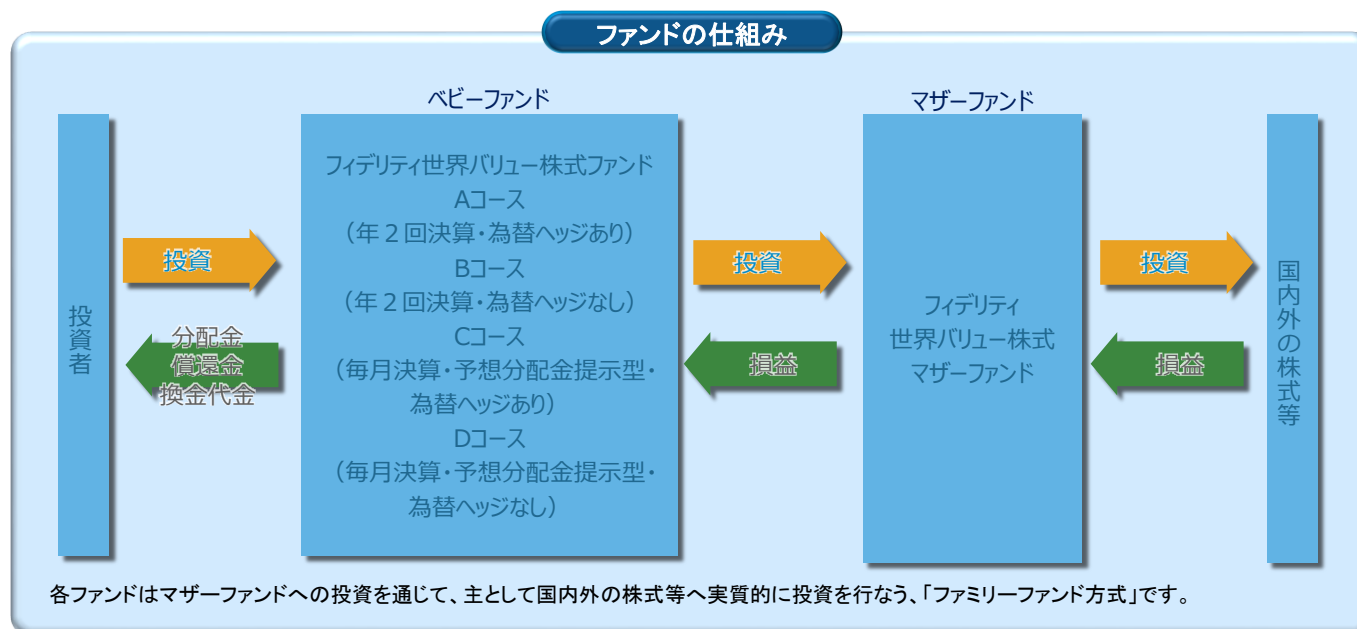
- ①フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- ③Aコース/Cコースは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。Bコース/Dコースは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

## ■ 運用の委託先

マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。





# 収益分配方針



## ■ 収益分配方針

### <Aコース、Bコース>

毎決算時(原則1月、7月の各15日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### <Cコース、Dコース>

毎決算時(原則毎月15日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。

毎計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上	400円

※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※上記表に記載された基準価額および分配金額は将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



# 収益分配金に関する留意事項



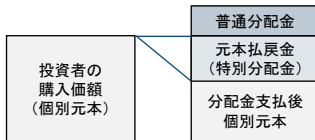
- 1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
- 3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

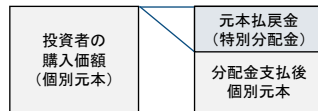
- 1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。  
 ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。  
 ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

- 2 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合

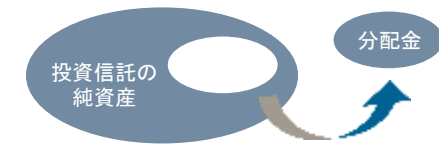


分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



- 「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
- 「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

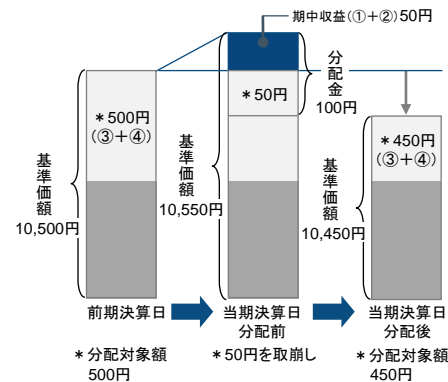
- 3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

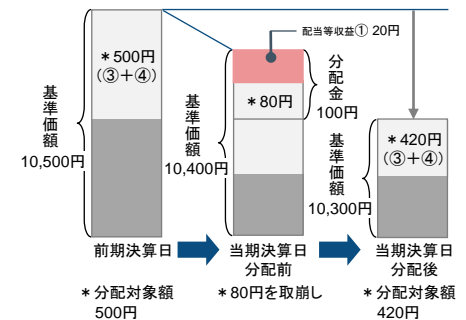
※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

前期決算から基準価額が上昇  
当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落  
当期計算期間の収益がマイナスの場合





# 投資リスク ①



## ■ 基準価額の変動要因

- 投資信託は預貯金と異なります。
- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる場合があります。
- ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因	※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。
価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	Aコース/Cコースは為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース/Dコースは為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
エマージング市場に関わるリスク	エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

## ■ その他の留意点

### クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

### デリバティブ(派生商品)に関する留意点

ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。



# 投資リスク ②



## ■ リスクの管理体制

投資リスク管理および投資行動のチェックについては、運用の委託先の運用部門が自ら行なう方法と、運用の委託先の運用部門から独立している運用に関するコンプライアンス部門が行なう方法を併用し検証しています。

- **運用部門** 部門の担当責任者と運用の指図を行なうポートフォリオ・マネージャーが、さまざまなリスク要因について協議し、ポートフォリオ構築状況をレビューしています。
- **運用に関する  
コンプライアンス部門** 法令および各種運用規制等の遵守状況について、モニタリングの結果を運用部門等にフィードバックしています。



# ファンドの費用

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。(消費税率10%の場合)  
 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。  
 ※大和証券でお申込みの場合



## 購入時手数料率

お客さまが直接的に負担する費用			購入金額	手数料率
料率等		費用の内容		
購入時手数料	購入金額に右記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額:(申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口)×購入口数	商品及び関連する投資環境の説明・情報提供、事務手続き等の対価として、購入時に販売会社にお支払いいただきます。	2千万円未満	3.30%(税抜3.0%)
信託財産留保額	ありません。	—	2千万円以上5千万円未満	2.20%(税抜2.0%)
スイッチング(乗換え)手数料	ありません。	—	5千万円以上1億円未満	1.65%(税抜1.5%)
			1億円以上5億円未満	1.10%(税抜1.0%)
			5億円以上	0.55%(税抜0.5%)

### (ご参考)

口数指定で購入する場合	金額指定で購入する場合
例えば、基準価額10,000円の時に100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円 購入時手数料=購入金額(100万円)×3.30%(税込)=33,000円 となり、 購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。	購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用			費用の内容
料率等			
運用管理費用(信託報酬)	年1.65%(税抜1.50%)	ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。	
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。  法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年1月及び7月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	組入る有価証券の売買委託手数料:有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用等:投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用及び受託会社の立替えた立替金の利息  法定書類等の作成等に要する費用:有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷及び提出等に係る費用 監査費用:ファンドの監査人等に対する報酬及び費用	

※当該手数料・費用等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



# お申込みメモ（大和証券でお申し込みの場合）



<b>購入単位</b>	100円以上1円単位 * または100口以上1口単位 * 購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。 ※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。
<b>購入・換金価額</b>	購入および換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
<b>換金代金</b>	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。
<b>スイッチング</b>	各コース間にてスイッチングが可能です。 スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に税金がかかります。
<b>購入・換金申込不可日</b>	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。
<b>申込締切時間</b>	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受付けたものを、当日のお申込み受付分とします。
<b>設定日</b>	2021年8月10日
<b>換金制限</b>	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
<b>購入・換金申込受付の中止及び取消し</b>	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
<b>信託期間</b>	2021年8月10日（設定日）から2026年7月15日まで
<b>繰上償還</b>	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
<b>決算日</b>	Aコース／Bコース：原則、毎年1月、7月の各15日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。 ※第1期の決算日は2022年1月17日とします。 Cコース／Dコース：原則、毎月15日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。 ※第1期の決算日は2021年8月16日とします。
<b>収益分配</b>	Aコース／Bコース： 年2回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 Cコース／Dコース： 年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。
<b>信託金の限度額</b>	Aコース、Bコース、CコースおよびDコースの合計で1兆5,000億円
<b>課税関係</b>	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、「ジュニアNISA」の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

<b>委託会社</b>	フィデリティ投信株式会社	<b>運用の委託先</b>	FIAM LLC	<b>受託会社</b>	三井住友信託銀行株式会社	<b>販売会社</b>	大和証券株式会社
-------------	--------------	---------------	----------	-------------	--------------	-------------	----------



# 当資料のお取扱いにおけるご注意点



- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ世界バリューストックファンドAコース（年2回決算・為替ヘッジあり）/Bコース（年2回決算・為替ヘッジなし）/Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）/Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（<https://www.fidelity.co.jp/>）をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。